



安全・安心の  
追求

# 原子力発電所では、万が一の重大事故に 備えた訓練を繰り返し行っています

万が一の重大事故等が発生した場合に、  
**あらゆる事象に速やかに対応**するため、  
さまざまな訓練を繰り返し行い、対応能力の向上に努めています。

〔地震や津波によって全ての交流電源を失った場合を想定した訓練〕  
夜間や悪天候下での訓練 など

## 電源供給訓練



高圧発電機車の電源ケーブル接続

## 冷却水供給訓練



移動式大容量ポンプ車の設置

## 放射性物質拡散抑制訓練



放水砲による放水



高圧発電機車による電源供給(夜間)



ホースの運搬・設置(夜間)

## がれき撤去訓練



重機によるがれき撤去

## 緊急時の運転操作訓練



シミュレータを使用した運転操作

## 原子力防災訓練



代替緊急時対策所での訓練

## 川内原子力発電所の緊急時の体制

勤務時間外や休日(夜間)でも、重大事故が発生した場合に速やかに対応するため、一班52名の対応体制を整備し、発電所やその周辺に常駐しています。

※玄海原子力発電所の重大事故等対策要員の体制についても、整備していきます。

区分	人数	
緊急時対策本部要員	4名	52名
運転員	12名	
重大事故等対策要員	36名	

?

この他にどのような取組みを行っているの？

詳しくはウラ面へ

自治体や国が主催する原子力防災訓練に参加し、  
原子力防災組織が有効に機能することの確認や  
防災対策の習熟を図っています。

## 自治体・国主催の原子力防災訓練

### 玄海原子力発電所の訓練



緊急時モニタリング訓練



ヘリ空輸訓練



後方支援拠点設置・運営訓練

### 川内原子力発電所の訓練



通報連絡訓練(本店即応センター)



原子力災害医療訓練



住民避難支援訓練

原子力発電所の重大事故を想定した自治体や国主催の原子力防災訓練に、当社も事業者として参加しています。

〔2017年1月〕

鹿児島県による訓練[川内原子力発電所]

〔2017年9月〕

国による原子力総合防災訓練

(佐賀、長崎、福岡の3県による訓練と合わせて実施)[玄海原子力発電所]

### 【当社訓練の主な内容】

#### ・通報連絡訓練

発電所及び本店に緊急時対策本部を設置、TV会議による情報共有、通報連絡

#### ・発電所における緊急時対応訓練

電源復旧、緊急時モニタリング、火災対応

#### ・原子力災害医療訓練

#### ・住民等の避難退域時検査訓練

住民や車両等の避難退域時検査・除染

#### ・後方支援拠点の設置、運営訓練

事故収束活動を発電所外から支援する  
後方支援拠点の設置・運営、ヘリ空輸訓練

#### ・当社福祉車両による住民避難支援訓練

万が一原子力災害が発生した場合、  
住民の皆さまの避難等に対して最大限の支援を行っていきます。

### 【原子力防災支援に係る主な取組み】

- ・PAZ※圏内等の要支援者の避難手段として不足する福祉車両やバス及び運転手等の確保
- ・避難退域時検査・除染、緊急時モニタリングの要員及び資機材の支援
- ・放射線防護対策施設・避難所等への生活物資(保存食、寝具等)の備蓄支援
- ・モニタリングポスト、オフサイトセンター、放射線防護対策施設への燃料補給支援

※原子力災害に関し、予防的防護措置を準備する区域。  
発電所から概ね5kmの範囲



福祉車両(ストレッチャー仕様)



福祉車両(車椅子仕様)



避難退域時検査・除染



燃料補給支援(モニタリングポスト)